

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|------------------|
| I. 理念に基づく運営 | <u>11</u> |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | <u>2</u> |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | <u>6</u> |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | <u>11</u> |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | <u>30</u> |

| | |
|-------|---------------------|
| 事業所番号 | 2372300794 |
| 法人名 | 有限会社ナオ |
| 事業所名 | グループホームらく |
| 訪問調査日 | 平成 21 年 3 月 23 日 |
| 評価確定日 | 平成 21 年 5 月 1 日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人『サークル・福寿草』 |

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成21年3月28日

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 事業所番号 | 2372300794 |
| 法人名 | 有限会社ナオ |
| 事業所名 | グループホームらく |
| 所在地 | 愛知県瀬戸市共栄通り2丁目42番地 (電話)0561-85-6960 |

| | | | |
|-------|----------------------------|-------|-----------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人『サークル・福寿草』 | | |
| 所在地 | 愛知県名古屋市中村区松原町一丁目24番地N203号室 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年3月23日 | 評価確定日 | 平成21年5月1日 |

【情報提供票より】(21年2月24日事業所記入)

(1)組織概要

| | | | |
|-------|------------------|-------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成 14 年 9 月 13 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 10 人 | 常勤 6 人、非常勤 4 人、常勤換算 8 人 | |

(2)建物概要

| | |
|------|-----------------|
| 建物構造 | 木造り |
| | 1階建ての 1階 ~ 1階部分 |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|---------------|----------------|------------|---|
| 家賃(平均月額) | 33,000 円 | その他の経費(月額) | 光熱費、個人消費費円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | 一日あたり 1,100 円 | | | |

(4)利用者の概要(2月24日現在)

| | | | | |
|-------|---------|---------|---------|-----|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 2 名 | 7 名 |
| 要介護1 | 4 名 | 要介護2 | 5 名 | |
| 要介護3 | 0 名 | 要介護4 | 0 名 | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | |
| 年齢 | 平均 84 歳 | 最低 68 歳 | 最高 92 歳 | |

(5)協力医療機関

| | |
|---------|-----------------------|
| 協力医療機関名 | 浅野内科、イトウ内科、東京堂歯科、井上病院 |
|---------|-----------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「グループホームらく」は、民家を改造した建物で、住宅地の中に立地している。これまでの生活をなるべく変えず、日中できるだけ活動的に過ごす当たり前の生活ができるよう支援している。建物内部は、利用者が使い易いよう工夫し、玄関の段差を元のまま残し、自然に生活機能訓練ができるようにする等、利用者の自立を促す仕組みが施してある。市の協力で、商店街に「コミュニティカフェらく」を開店し、利用者は、毎日そこへ出かけ、地域の一般客との交流が深まっている。週1回、地域の神社に参拝し、清掃奉仕活動をして、地域の一人として生活し、災害時には、地域住民が緊急協力員として加わる等、地域との協力関係をつくり上げている。家庭的な雰囲気の中で、利用者の自由な意志、主張を大切に、自分のことは自分ですることを基本に、利用者本位の生活ができるようにしている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では、課題として重度化や終末期に向けた方針の共有について、引き続きその具体策に取り組むことを期待したい。災害対策について、地域住民の災害時の協力については改善し、地域住民に依頼し、緊急協力員として消防署に届出を完了し、災害時の協力を確保することができている。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価には職員全員が参加し、各職員の意見を取り入れ、管理者がまとめを行った。職員全員が課題を共通認識として把握し、継続して改善への取り組みをしている。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議では、事業所の運営、グループホームのサービス内容、地域密着型サービス外部評価結果を報告、説明し、ケア学習会、家族の思いの発表を行った。外部からのいろいろな立場の出席者の意見、要望を受け、意見交換した。会議録に基づいて職員全員で話し合い、サービス向上に取り組んでいる。 |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の意見、苦情、不安等は、家族が来訪した時に、気軽に話してもらえる雰囲気づくりをしている。電話での相談には、いつでも対応している。運営推進会議において、家族の意見発表の機会を設け、発言してもらえるようにしている。出された意見は、職員全員で話し合い、運営に反映させている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近隣の神社の参拝、清掃奉仕活動を通じて、地域住民との交流を続けている。商店街にある「コミュニティカフェらく」へ毎日出かけ、訪れる地域の一般客との交流が深まっている。地域住民との協力関係をつくり上げ、緊急協力員として消防署に届出し、災害時の協力態勢を確保している。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 利用者とスタッフ間の家族的な雰囲気を大切に、利用者の自由な意志主張を大切に、利用者の自立支援を図り、家族や地域住民との連携を図ることを理念としている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 利用者が家庭的な雰囲気の中で、安心して暮らせるよう、全員が理念を共有し、日々の業務に取り組んでいる。玄関に理念を掲示し、家族その他来訪者にも、理念を理解してもらえるようにしている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の神社の催事に参加する他、週1回神社に参拝し、清掃奉仕活動をしている。ボランティアとして地域の人々が来訪している。商店街に「コミュニティカフェらく」を開店し、地域の一般客が訪れ、毎日そこに出かけている利用者との交流が深まっている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員全員が評価の意義を理解し、自己評価には全員が参加している。職員一人ひとりの意見を取り入れ、管理者がまとめ記入した。評価の結果は、全員で話し合い、共通認識として日々のケアに役立てている。外部評価の結果は、玄関に掲示し、家族その他の来訪者にも知ってもらうようにしている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2か月に1回開催し、利用者家族(毎回交替)民生委員、町内会、ボランティア協力者、福祉連合会、市職員、管理者、運営者が出席している。会議では、事業所の運営状況、サービス内容、外部評価結果を報告、説明し、ケア学習会、家族の思いの発表を行った。外部からの意見、要望を受け、意見交換した。出された意見、要望は、職員全員で話し合い、サービス向上に役立てている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 介護相談員の受入れをするとともに、日常的に市担当者との交流があり、事業者から出向いて報告、相談をしたり、市からの連絡や訪問を受けている。市の協力で商店街の「コミュニティカフェらく」を開店した。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | 家族等は週1回から5回来訪し、その他に利用者の日常生活の様子、健康状態について報告し、必要に応じて電話連絡している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族等の意見は、運営推進会議に家族等が交替で出席し、意見発表の機会を設けている他、来訪した時や電話でいつでも意見を言ってもらえるようにしている。重要事項説明書に苦情相談窓口と市役所、国保連の相談窓口を明記している。出された意見は会議で話し合い、日々のケアに反映させている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 併設事業所開設のため、一部職員の異動はあるが、利用者が安心して生活できるよう、なるべく異動がないよう努めている。利用者や職員は、信頼関係をつくり上げているので、異動による影響はほとんどない。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修の機会を確保し、研修の成果は事業所で伝達研修を行い、職員全員の技能向上に役立てている。認知症実践者研修、管理者研修、開設者研修への参加実績があり、今後も順次研修参加を進めていくようにする。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホームブロック会、研修会を通じ、同業者との交流の機会を持ち、サービスの質の向上への取り組みをしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 自宅を訪問して、本人、家族との会話の中で安心感を持ってもらい、その人の生活環境、生活歴、趣味等を把握している。喫茶店での交流、通所、宿泊利用を継続し、利用開始までに馴染みの関係をつくり上げ、その人が安心して利用できるようにしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者一人ひとりの生活歴をもとに、仲間としての利用者との会話を大切に、利用者から得意の分野についての昔の方法、やり方を学び、仲間として共に過ごし支え合う関係をつくり上げている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者一人ひとりの思いを大切に、利用者との日々の会話から、その人が何を希望しているかを把握するよう努めている。家族と相談を重ね、職員間で意見交換し、その人が安心、安楽に過ごせるよう、一人ひとりに合わせて検討している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者の希望、家族の意向をもとに、家族と相談し、毎月の会議で利用者の日常生活の観察結果、日々の変化の記録を参考に、各職員の意見を取り入れ、その人の状態に合わせた利用者本位の介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的な見直しの他、毎月の会議で利用者日々の変化や職員の気づきを話し合い、新たな介護計画を作成している。職員は、利用者日々の細かな変化を見逃さず、利用者との会話からヒントを得て、必ずケアマネージャーに伝達し、計画作成に活かしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|----|---|--|------|---|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者、家族の状況、要望に応じ、併設の小規模多機能型居宅介護と連携し、その人の状態に合わせた最適な介護サービスを利用できるようにしている。商店街の「コミュニティカフェらく」を地域のセンターとして、地域の人々を巻き込んだ柔軟なサービスを提供している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者、家族の希望により、受診する医療機関を選択することができる。協力医療機関の病院、診療所の受診には、職員が付添い通院介助している。利用者、家族の希望する病院、診療所を受診する場合には、家族が付添い通院介助をしている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 本人の意思、家族の意向を確認し、状態変化の場合には、関係者との相談を重ねている。利用者が健康的に安心して暮らすことができるよう支援しているが、医療行為が必要な場合には、病院等へ移管している。 | ○ | 利用者の重度化に際して、状態変化に伴って利用者、家族等の意思、意向が変化することもあり得る。継続して話し合いを重ねるとともに、指示書、承諾書の作成に取り組むことを期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者一人ひとりを尊重し、いやな思いをさせないよう言葉かけに配慮し、信頼を得るようにしている。利用者に対応する際には、さりげなく、分からないようにしている。個人情報を記載した記録、文書類は、保管に留意している。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一日の過ごし方の基本的スケジュールはあるが、一人ひとりのペースに合わせ、その時の体調に配慮し、その人が心地良く過ごせるよう支援している。週1回、神社参拝と清掃奉仕活動をして、利用者の状態によって気分転換も兼ねて昔馴染みの末広商店街を散策し、利用者一人ひとりが好きなことをして過ごす場合もある。途中立ち寄る「コミュニティカフェらく」は利用者の人気場所である。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の希望や好みに合わせた献立の食事で、利用者と職員と一緒に食事をしている。後片付け、食器洗いは一人ひとり全員でやっている。みんなで食べたい物を買いにしかけることもあり、近隣には畑が多く、野菜をもらうことも度々ある。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日入浴できるようにしている。入浴時間は、夕食後から寝る前にゆっくり入れるようにして、入浴を好まない人にも働きかけて入浴できるようにしている。入浴前には、必ず健康状態をチェックをしている。夜間の入浴は気持ち良く、ぐっすり眠れている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの生活歴をもとに、その人の得意な分野を活かした役割づくりをしている。レクリエーションでは、貼り絵、ぬり絵、習字、カラオケ、ゲーム、体操等、みんな楽しみながら活発に行動している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | みんなで昔懐かしい末広商店街へ出かけ、途中で花をながめたり散歩をしたりしながら出かけている。利用者の状態によって気分転換を兼ねて、喫茶店に出かけることが楽しい習慣となっていて、そこは地域の一般客との交流の場でもある。利用者の希望で、月1回の居酒屋ツアーを実施している。外出することで、季節の変化を肌で感じるようにしている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ホームでは、日中は玄関に鍵かけをしていない。夜間は防犯上の理由で施錠している。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練を年2回実施し、避難方法、経路、場所を確認している。夜間を想定した訓練では、職員がひとりで確実に対応できるようにしている。毎月、事業所内で「避難訓練の日」を設定し、実施している。災害時には、地域住民に協力を依頼し、緊急協力員として消防署に届出している。消火器を設置し、災害用備蓄として水2ケースとスポーツ飲料3ケースを確保している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者一人ひとりの状態に合わせて、バランス良く栄養摂取できるよう、糖尿食、粥食、キザミ食、ペースト食等にも対応している。水分補給には、その人の習慣にも配慮し、必要量を摂取できるよう工夫し、その人の飲んだ量を記録している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 木のぬくもりのある共用玄関、整理、整頓が行き届き、快適な空間になっている。玄関の段差は元のままにあり、利用者の日常生活の中で自然に機能訓練できるよう工夫している。対面式キッチンがあり、職員は作業しながら居間、居室全体を見渡すことができ、常に利用者の状態を観察できるよう工夫している。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室ドアは、中心部分にガラスをはめ込み、ドアを開けなくても、居室内の様子を観察でき、夜間の見守りに活用している。利用者が自宅で使い慣れたタンス、小物入れ等、その人の家庭環境に応じた愛着のある物を持ち込んでいる。床にマット、布団を敷き、毎日の上げ下ろしは利用者が行い、居室内の清掃には箒、塵取りを利用し、利用者が清掃している。 | | |